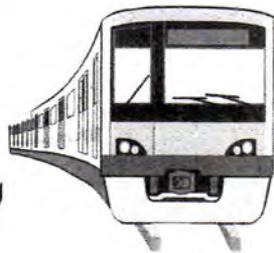


# 小田急多摩線延伸促進協議会ニュース



小山町第一区連合町内会

会長 松永 勝次

町田小山 小田急多摩線延伸促進協議会

会長 近藤 一夫

平成27年度に予定されている答申に向け、  
要望活動を積極的に展開。

◆15年前、平成12年の「運輸政策審議会」の小田急多摩線延伸についての答申は、Bランクの「今後、整備・検討すべき路線である」という内容でした。

それから15年が経過。平成27年度に「交通政策審議会」の答申が予定されておりますが、小田急多摩線の延伸については、Aランクの「早期に実現すべきである」に格上げされることを期待し、従前にもまして、より一層活発な要望活動が今、展開されております。

◆要望書提出先等

- ・2月2日 相模原、当小山の協議会等4団体で神奈川県庁、小田急本社に要望書を提出。
- ・2月3日 相模原、当小山の協議会等4団体で町田市、相模原市に要望書を提出。
- ・2月4日 町田市、相模原市等の市(町)議会議員で構成する議員連盟が、神奈川県庁、小田急本社に要望書を提出。



2月3日、町田市に議長を訪問、要望書を提出。訪問した役員全員、議長を囲んでの記念撮影。

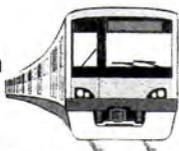
相模原駅横から小山町方面に通ずる仮称:南北道路  
開通に向け、目下、相模原市が工事プラン検討中

本回覧2ページ目の記事は、仮称:南北道路について説明したものです。

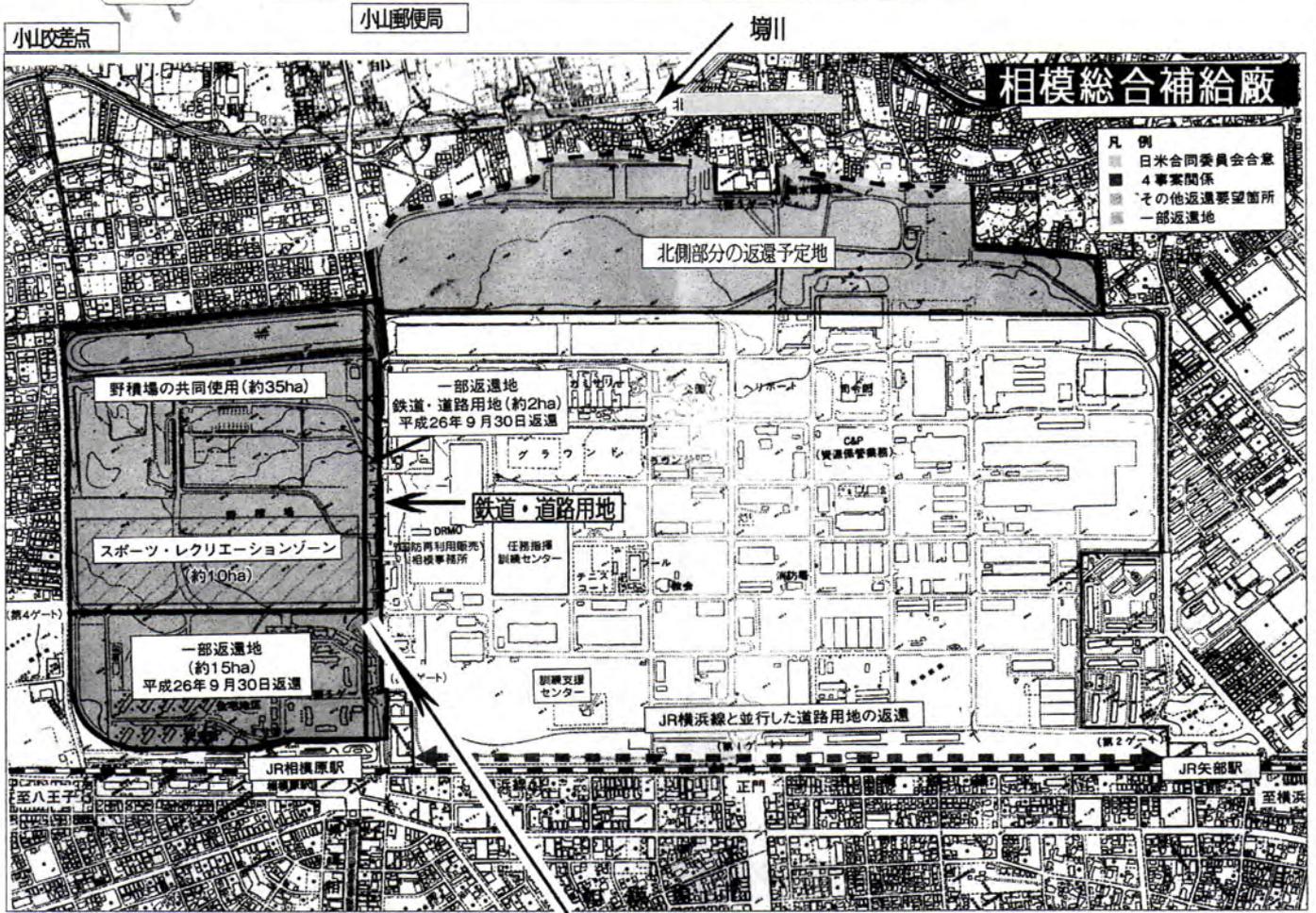
今から62年ほど前、1952年(昭和27年)ごろまで、今回返還された道路用地とほぼ同じ位置に一般道があり、通勤・通学に多くの方が利用しておりました。

小田急多摩線が開通する前に、この鉄道・道路用地に自動車道と歩行者用道路を造り、住民の皆さんの利便を図ろうというのが相模原市の計画です。

目下、具体的工事プランを検討中だそうですが、この道路ができると小山、とくに1区にお住いの皆さんは、大変便利になると思います。



# 相模総合補給廠返還用地と鉄道・道路用地



※矢印の先端が撮影場所

工事着工を待つ幅員26mの道路から、小山町方面を写したのが下の写真 ↓



## 道路の概要

◆道路の名称(仮称):南北道路 ◆道路幅等:幅員=26m 片側=2車線+歩道 ◆工事着工=相模原市で目下、工事プラン検討中 ◆工事区間:相模原駅横~総合補給廠北側フェンス ◆現時点での工事完了箇所:両側フェンス・新設道路からの補給廠出入口・補給廠東西連絡橋(写真正面白塗りの橋) ※写真撮影:理事・荻原義正さん(下馬場町内会)